

SUIDO NEWS 1

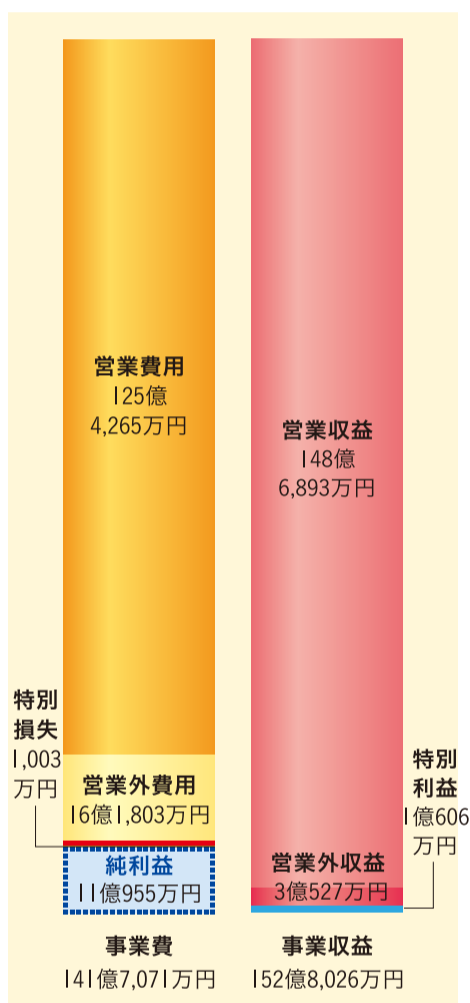
水道局の決算概要をお知らせします

■水道局の経営は健全です 平成24年度 水道事業会計決算の概要

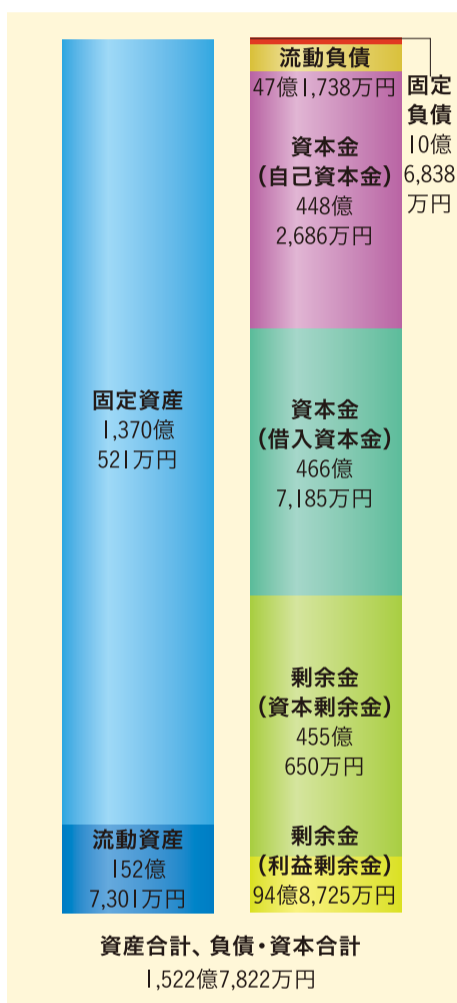
平成24年度は、事業収益152億8,026万円に対し、事業費は141億7,071万円となり、純利益11億955万円を計上しました。水道料金収入の基となる給水量が、前年度比646,676m³の減(▲0.65%)となったことを受け、事業収益は前年度比9,008万円の減となりましたが、事業費についても前年度比5,340万円の減となったことから前年度並みの純利益となりました。純利益は、水道施設の整備や借入金の元金返済のために使います。



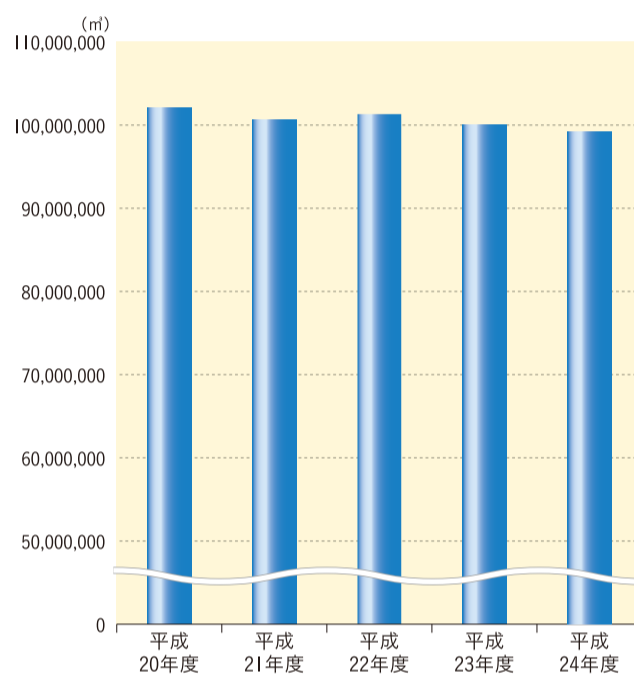
◎損益計算書



◎貸借対照表



◎1年間の給水量の推移



※『有収水量』とは、水道料金として計上された水量です。

給水量は、平成22年度に記録的な猛暑の影響でいったん増加しましたが、傾向としては右肩下がりとなっています。これは、節水意識の高まりや、洗濯機、トイレなどへの節水型機器の普及により、各世帯のご使用量が以前に比べ少なくなっていることが理由と思われる。また給水人口の増加も見込めない中で、今後も給水量の減少傾向は続くものと思われる。

■古い施設や配水管をリニューアルして

“地震に強い水道”を目指します ー平成24年度に実施した主な事業ー

浄水場の統廃合(効率的な施設運用)

- ・月潟浄水場を廃止し戸頭浄水場へ統合
- ・基幹浄水場としての戸頭浄水場の施設整備と機能強化を実施
- ・浄水場統廃合のための連絡管4.1kmを布設

浄水場や配水管の老朽化対策

- ・青山浄水場の施設整備の推進(平成22年度から5か年継続事業)
- ・阿賀野川浄水場の老朽化に対応するため施設整備計画を策定
- ・強度の低い石綿セメント管を計画的に更新・耐震化(進捗率86.3%)
- ・腐食リスクの高い地域の経年管路を優先的に更新・耐震化(進捗率40.9%)

施設の耐震化

- ・信濃川取水場から青山浄水場向け導水管の更新・耐震化工事を推進
- ・青山浄水場～信濃川浄水場間の相互連絡管の整備を推進
- ・重要施設向け配水管の耐震化を施工
- ・浄水場、配水場等、各水道施設の耐震診断を実施



安全な水道水を途切れることなく届けるために、古くなった浄水場や配水管を新しくしています。

その他

- ・スマートエネルギーの推進(水道局庁舎の屋上緑化、窓面緑化グリーンカーテンの導入)
- ・危機事象への備え(浄・配水場の緊急時用に大型発電機を配備、水道管の緊急修繕用材料備蓄を拡充)

●お問い合わせは ☎0120-411-002 水道局経理課へ